



小学4・5・6年生による「みかぐら」 (太地大運動会)

目次

平成25年度 太地町の決算	2
平成25年度 主要施策の成果	4
トピックス	10
姉妹都市ブルームコーナー	11
盆供養花火大会収支決算報告書	12
お知らせ	13
住民福祉課便り	14
くじらの博物館便り	16
保健衛生関係行事予定	18

平成25年度・太地町の決算

太地町の平成25年度（平成25年4月1日～平成26年3月31日）決算がこの程まとなり9月に開かれた定例議会で認定されました。一般・特別会計を合わせた決算額は、歳入が45億3,312万4千円、歳出が43億465万1千円となりました。

限られた予算を有効に活用し、町民の皆様の生活向上につなげる努力は、今後も続けていきたいと思っております。

平成25年度の決算の概要をお知らせいたします。



町道山中2号線トンネル貫通式



南紀園竣工式

平成25年度 会計別決算状況

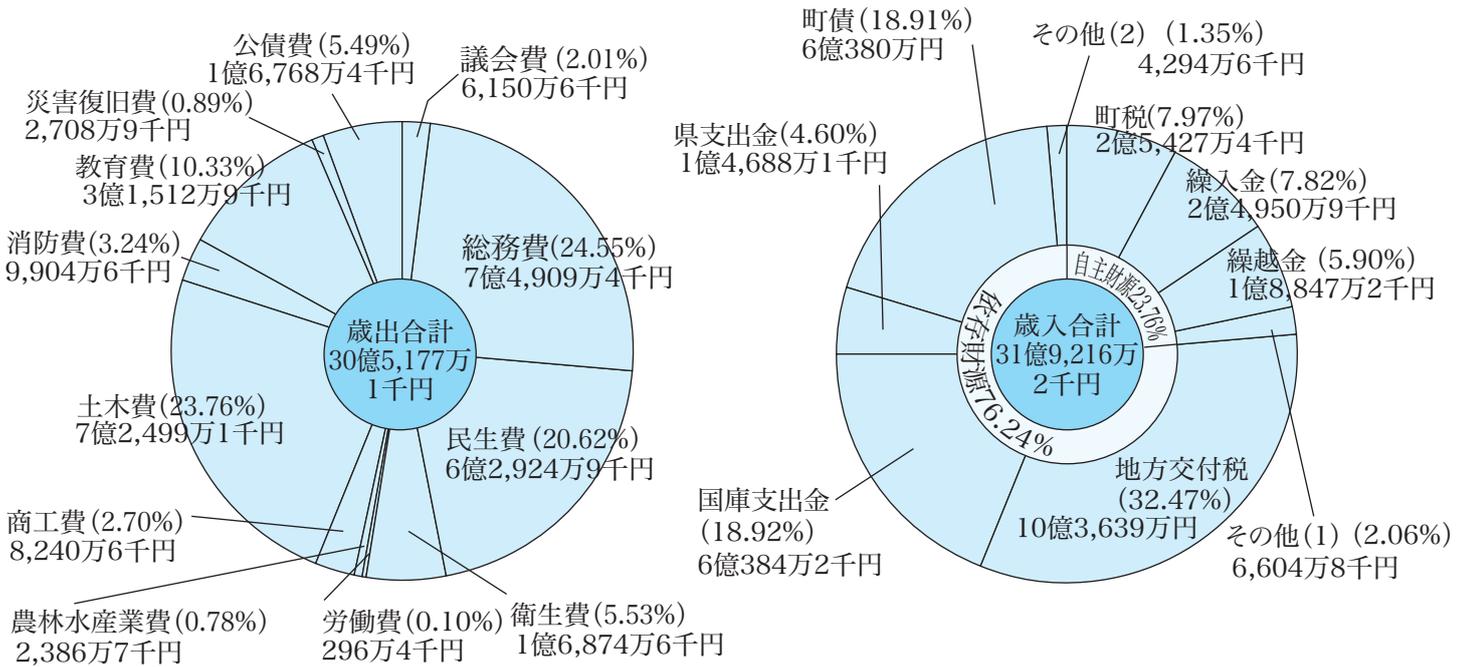
会計別	歳入	歳出	差引
一般会計	31億9,216万2千円	30億5,177万1千円	1億4,039万1千円
国民健康保険事業	5億73万6千円	4億7,622万3千円	2,451万3千円
公共下水道事業	6,256万2千円	6,100万3千円	155万9千円
くじらの博物館事業	3億305万円	2億4,758万2千円	5,546万8千円
介護保険事業	3億6,232万8千円	3億5,940万2千円	292万6千円
後期高齢者医療事業	1億1,228万5千円	1億866万9千円	361万6千円

企業会計

水道事業	6,401万6千円	7,468万2千円	△1,214万9千円
国民宿舎事業	1億506万8千円	1億1,125万1千円	△593万2千円

※企業会計の歳入歳出差し引き額の相違は消費税分です。

一般会計



《グラフの解説》

歳入を調達方法の面からみると、自主財源と依存財源の二つに分類されます。

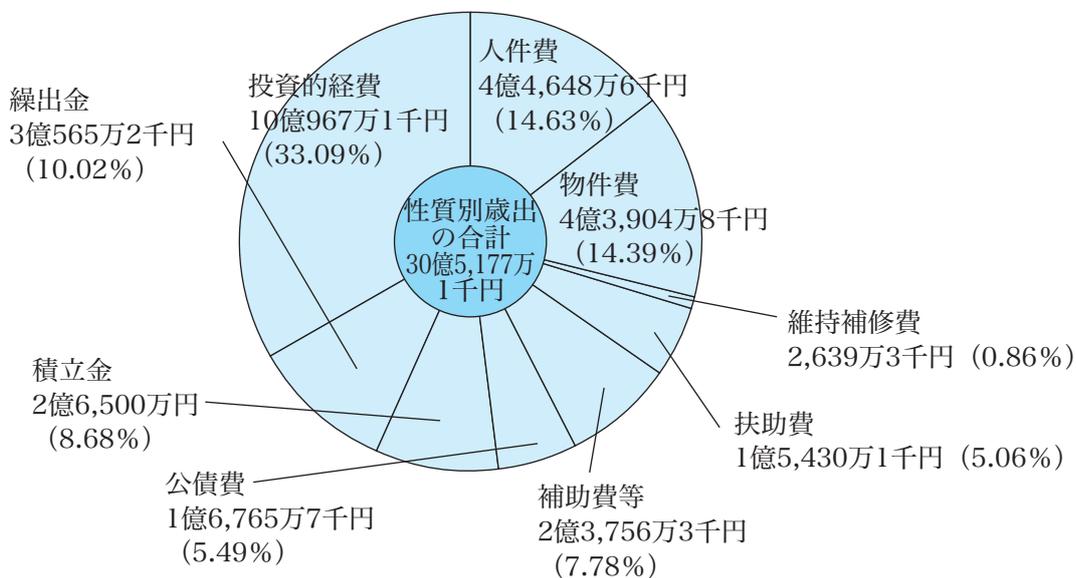
自主財源とは町が自ら徴収または収納できる財源で当町の場合、歳入の約24%を占めています。また、依存財源とは国や県から交付されるものや借入金などで、歳入の約76%を占めています。

その他(1)の内訳

分担金及び負担金	618万6千円(0.19%)
使用料及び手数料	1,890万7千円(0.59%)
財産収入	389万4千円(0.12%)
寄附金	437万4千円(0.14%)
諸収入	3,268万7千円(1.02%)

その他(2)の内訳

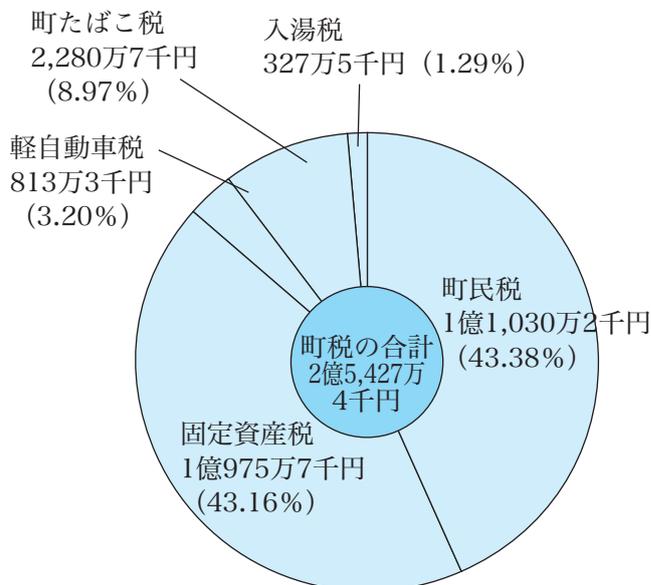
地方譲与税	1,042万3千円(0.33%)
利子割交付金	125万3千円(0.04%)
地方消費税交付金	2,339万2千円(0.73%)
自動車取得税交付金	283万6千円(0.09%)
地方特例交付金	77万6千円(0.02%)
配当割交付金	185万2千円(0.06%)
株式等譲渡所得割交付金	241万4千円(0.08%)



各項目の町税を住民基本台帳による人口で町民1人当りに換算すると、下記のようになります。

※住民基本台帳 人口 3,355人
(平成26年3月末現在)

町民税	32,877円
固定資産税	32,714円
軽自動車税	2,424円
町たばこ税	6,798円
入湯税	976円
合計	75,789円



平成25年度 主要施策の成果

総務関係

町営じゅんかんバス運行事業、夏山地区タクシー券交付事業を引き続き実施した。また、防災力の強化・充実を図るため、再生可能エネルギー等導入推進基金を活用し多目的センターに太陽光発電システムを設置、LED 避難路誘導灯を15基設置するとともに、町内全世帯に対して2カ年計画の防災ラジオ貸与事業を実施した。そのほか、庁舎の長寿命化を考慮した庁舎別棟防水改修工事の実施、将来のこども園建設事業及び公園施設充実のために土地を購入した。

企画関係では、将来構想としての森浦湾鯨の海構想の足がかりとなる森浦湾調査事業等を実施するとともに本構想に寄与する太地町くじらと自然公園のまちづくり協議会への助成、さらに昨年度交付決定した民間団体の計画する森浦湾開発事業に対して地域経済循環創造事業補助金を活用した助成事業を行った。また、国際交流の更なる活性化のため、町内中学生を姉妹都市オーストラリア・ブルームへ派遣した。

旧グリーンピア南紀跡地の利活用について、維持管理に努め、園地、施設等を一般に開放、グラウンド整備工事を行うとともに昨年度に引き続き太陽寮を警察官の宿舎として有効に活用した。そのほか、捕鯨文化の振興と更なる発展に資する事業として捕鯨船陸揚展示場の周辺整備及び公衆便所を新築した。

財政関係では、財政の健全な運営に資するために財政調整基金、減債基金への積立を行った。また、税の滞納圧縮のため、延滞金の徴収及び滞納処分を力を注ぎ、和歌山地方税回収機構を有効活用した。今後においても徴収率の向上に向け努力を重ねたい。

(単位：千円)

事業	金額	備考
町営じゅんかんバス運行事業	13,643	
夏山地区タクシー券交付事業	396	
旧グリーンピア南紀維持管理関係	19,843	賃金他
旧グリーンピア南紀野球場整備	9,608	
くじら自然公園のまちづくり協議会助成	2,500	
森浦湾鯨の海構想関係費用	8,787	森浦湾鯨の海構想業務、森浦湾現地調査(測量等)
庁舎別棟防水改修工事	2,062	
太地町地域経済循環創造事業交付金事業	30,000	
土地購入事業	27,080	大字太地字先平見 1770 番 1 他 4 筆
防災ラジオ貸与事業	6,377	
太陽光発電システム整備工事	34,440	多目的センター

事業	金額	備考
LED 避難誘導灯設置工事	19,845	町内（15 基）
捕鯨船展示場整備工事	48,246	周辺整備、公衆便所設置
基金積立事業	265,000	財政調整基金、減債基金

民生関係

住民の福祉、健康の向上のため、健康づくり体制の充実、医療の充実を図った。

就学児の健康の保持及び増進に寄与し福祉の向上を図るため就学児医療費（6歳～15歳）支給を実施するとともに、少子高齢化が進む中で、健やかな児童の成長と青少年の健全育成を願い各施策を実施した。

高齢者が安心して暮らせる健康づくり、居宅サービスと高齢者の生活を支える地域ケア事業を実施した。また、各種医療扶助を行うとともに国保加入者における予防事業として特定健診・特定保健指導事業、脳ドック事業を実施した。

誰もが、いつもでも不安のない生活を送れるよう「老人ホーム南紀園」の改築事業費を分担した。

介護予防事業では地域に即した支援を図ることを目的に高齢者トレーニング事業、また、配食サービス事業、介護用品給付事業等、高齢者の生活支援事業の充実を図った。

（単位：千円）

事業	金額	備考
社会福祉費	34,929	国民健康保険事業会計への繰出金
	4,293	地域ケア事業委託料
老人福祉費	500	生活管理指導員派遣事業委託料（介護保険事業）
	1,376	理学療法士派遣事業費
	1,965	配食サービス委託料（介護保険事業）
	155	介護用品給付事業費（介護保険事業）
	23,547	老人福祉施設入所措置費
	34	老人医療費
	1,390	緊急通報業務委託料
	4,111	南紀園分担金
	165,504	南紀園改築工事分担金
	889	老人クラブ助成金他
	58,997	介護保険事業会計への繰出金
児童福祉費	34,227	振興費、子ども手当
	6,145	保育所屋上防水改修工事
乳幼児医療対策費	6,613	乳幼児医療費、就学児医療費
ひとり親福祉費	3,869	医療費、ひとり親家庭高校生就学援助費他
障害者（児）福祉費	25,185	医療費、福祉手当他
	67,058	障害福祉サービス費等

衛生関係

「健康でありたいと願うまちづくり」を進める中で住民の健康の保持増進を図り、疾病や感染症の予防のため、各種検診、予防接種等を実施した。今年度は、風しんワクチン接種に要する費用の助成を行った。

清掃センターの運営、維持管理を行い、施設内においては固形燃料施設の安全管理、また、各設備の補修、補完を行った。今年度は、清水墓公衆便所を新築した。また、環境衛生施設一部事務組合の運営に要する経費の負担や、浄化槽設置費補助を行った。

(単位：千円)

事業	金額	備考
保健衛生関係	15,219	予防費、母子対策費、健康増進費
	94,205	清掃センター運営費等
	5,644	浄化槽設置費補助金
	14,418	環境衛生施設一部事務組合負担金
	473	清水墓公衆便所管理費

労働関係

離職を余儀なくされた非正規労働者、中高年齢者等の失業者に対して、次の雇用までの短期の雇用・就業機会を創出・提供を目的に事業を行った。

(単位：千円)

事業	金額	備考
労働諸費	2,920	緊急雇用創出事業臨時特例基金活用事業

農林水産業関係

農林業、漁業の振興活性化を図るため各団体への助成事業を行った。

鳥獣被害防止事業費として、有害鳥獣の捕獲報償、有害鳥獣からの防除等を対象に事業を行った。

漁業振興費としては、毎年行われている稚魚放流事業の魚種をカサゴ・ヒラメから新たにクエに変更して、放流事業を今年度も実施した。

また、マナマコ資源の増加並びに漁家収入の増大を図り、磯根漁場再生事業としてマナマコの種苗の放流と調査をおこなった。

(単位：千円)

事業	金額	備考
農業振興費	20	県土地改良事業団体連合会負担金
	45	水稻実行組合助成金
	45	果樹研究会助成金
花畑等整備事業費	986	沿道花壇の整備
鳥獣被害防止事業費	1,401	鳥獣防除ネット等資材費補助金他
林業振興費	206	松食い虫薬剤散布駆除委託料
ふれあいの森管理費	128	ふれあいの森管理費
水産総務費	98	水質（海水）検査委託料
漁業振興費	500	クエ稚魚放流事業
	100	緑のボランティア助成金
	2,000	稚貝稚魚放流事業助成金
	400	磯根漁場再生事業助成金
捕鯨対策費	1,527	IWC 捕鯨全面禁止絶対反対太地町連絡協議会助成金他

商工関係

南紀くろしお商工会への助成、公設市場負担金の支出等、商業の振興に努めた。

観光協議会の観光キャンペーン、イベントに参加し、観光客誘客に努め、毎年度実施している盆供養花火大会に助成を行った。また、引き続き海水浴場内において「くじらに会える海水浴場」と題し鯨類ふれあい事業を行った。

(単位：千円)

事業	金額	備考
商工総務費	3,800	南紀くろしお商工会助成金
	441	公設市場負担金
観光費（工事請負）	525	くじら浜海水浴場整備工事
観光費	3,094	海水浴場ふれあい事業費 鯨類借上料他
	5,870	吉野熊野国立公園熊野地域美化清掃協会分担金
	360	和歌山デスティネーションキャンペーン推進協議会負担金
	500	花火大会助成金

土木関係

生活環境基盤の整備を図るため、道路整備、側溝改修を行うとともに、里道を利用した避難路を整備することにより安全に避難する環境の整備を行った。

また、現在維持管理している既存の道路橋やトンネル・道路・のり面について点検を行うことにより安全で円滑な交通を確保するとともに今後の維持管理を行うための調査を行った。

住宅管理費として、老朽化している上野町営住宅2戸の玄関ドア取替を行った。

さらにシロアリによる被害の恐れがあった公営住宅平見団地のシロアリ駆除および予防を行った。

(単位：千円)

事業	金額	備考
道路改良費	835,704	山中2号線道路新設（トンネル）工事
	86,292	山中2号線道路新設（起点側）工事
	9,212	築地7号線側溝改修工事
	3,557	楠木谷・寄子路地区避難路整備工事
	1,365	太地町橋梁点検業務委託
	1,965	太地町道路防災点検（のり面・土木構造物）業務委託
	7,350	太地町トンネル点検業務委託
急傾斜地保全事業	1,380	津波昇降路設置事業負担金
住宅管理費	420	公営住宅上野団地玄関ドア取替
	282	平見公営住宅シロアリ駆除
	297	公営住宅上野団地トイレ配管取替修繕

消防関係

県下統一の事業である消防救急デジタル無線整備事業への着手に加え、災害に強いまちづくりに取り組んだ。特に東南海・南海地震発生による津波襲来に備え、津波ハザードマップの作成、防災倉庫の設置をするとともに、救急用資機材等の備品を購入した。また、住民に対して応急処置、AED 取扱い等の講習会を開催した。

(単位：千円)

事業	金額	備考
常備消防費	700	救急現場用資機材、自動体外式除細動器
非常備消防費	61,167	消防救急無線整備事業負担金
災害対策費	1,821	津波ハザードマップ作成
	1,139	防災倉庫

教育関係

本町は「かしこくて、丈夫で、やさしい子どもの育成」をスローガンとし、町の文化、伝統を学ぶ取り組みの充実、人を思いやる優しい心の育成、確かな学力の定着を目的に、地域と学校と家庭が一体となって教育行政を推進した。

学校教育では、「確かな学力の定着」「豊かな人間性の育成」「地域に根ざした学校づくり」を基本方針としてきめ細やかな指導を行った。

教育委員会事業では、平成 18 年度より和歌山県子どもの安全対策事業として、通学路セーフティネットの日が設けられ、学校教員、安全ボランティアの協力により登校指導を実施した。

小児生活習慣病予防対策事業は、児童・生徒と保護者の生活習慣病の実態を明らかにし、生活習慣病の影響を把握するとともに、今後健康的に大人に成長するために親子で検診の予防事業を実施した。

食事のマナー習得のため、中学 3 年生を対象にテーブルマナー習得講習会を実施した。

教育委員会工事について、小学校ではスタンド改修工事、校舎・体育館外壁塗装改修工事を、中学校では屋上防水改修工事、教育相談室空調工事を、公民館では便所改修工事を行った。

石垣記念館では、近隣の画家による絵画作品展を開催し、入館者の増加を図るよう努めた。

社会教育では、あらゆる活動を生涯教育と位置づけ、町民一人ひとりが生きがいのある日々を送れるよう計画し取り組んだ。

青少年健全育成事業として、特に夏休み中に地域のボランティア、警察等の協力のもと夜間パトロールを実施し、指導を行った。

また、児童を対象にした、「ユークラブ」は遊びを通じ、大人と子どもが地域の住民や自然とのふれあいが出来るよう努めた。

保健体育では、市町村対抗ジュニア駅伝競走、町主催駅伝大会、グランドゴルフなど各種事業を行い、各種団体活動への助成を行った。また、文化財関係では、敷地や環境保護の整備に努めた。

(単位：千円)

事業	金額	備考
教育総務費	757	小児生活習慣病予防対策事業費
	1,641	学校教育指導主事共同設置負担金
	1,746	青少年センター分担金
	324	英語教育推進事業
	3,522	外国青年招致事業
小学校費	626	校舎校具等維持修理費
	12,704	スタンド改修工事、職員トイレ改修工事
	15,252	小学校校舎及び体育館外壁塗装改修事業
	3,155	教材、一般、図書、給食備品
	837	姉妹都市白馬村児童派遣費補助金
	962	就学援助費
中学校費	1,115	校舎校具等修理費
	3,004	屋上防水改修工事ほか
	853	教材、一般、図書、給食備品
	506	生徒派遣費補助金
	118	テーブルマナー習得講習会時費用
	909	就学援助費
	90,340	太地中学校屋内運動場改修事業
幼稚園費	328	園舎教具等改修費
	1,680	幼稚園屋上防水工事
	629	備品購入費
社会教育総務費	863	カレンダー印刷製品費
	181	いさな通学合宿事業
公民館費	430	文化講演会講師謝金
	595	修繕費
	743	備品購入費
	21,427	便所改修工事
文化財保護費	200	太地町民芸保存会助成金
青少年健全育成費	240	需用費
石垣記念館費	79	絵画展示会費
保健体育総務費	657	ジュニア駅伝参加費
	498	町駅伝大会費用

～ご寄付いただきました～

10月7日（火）、南紀くろしお商工会太地支部から親睦ゴルフ大会チャリティーホールの収益金を太地浦くじら祭大会長である町長に対し、寄付していただきました。

今回いただいたご寄付は太地浦くじら祭の充実に活用させていただきます。



～太地大運動会が行われました～

10月7日（火）、太地小学校グラウンドで「最後まで笑顔が光る運動会！！」をスローガンに太地小学校・太地こども園・町民合同の太地大運動会が開催されました。

本来は、10月5日（日）に行われる予定でしたが、台風18号接近により延期となりました。

当日は、晴天のもと、運動会を開催することができました。子どもたちは、一つ一つの種目に全力で取り組んでいました。中でも、1年生から3年生による「明日へと」、4年生から6年生による「みかぐら」では、息の合った素晴らしい踊りを披露し、観客からは惜しみない拍手が贈られました。また、「低学年リレー」、「高学年リレー」では、それぞれがチームのために一生懸命に頑張っていました。



5・6年生によるあや踊り



こども園園児によるかけっこ



1年生から3年生による「明日へと」
（和歌山国体テーマソング）



4年生から6年生による騎馬戦

THE PEARLS

姉妹都市ブルームのコーナー

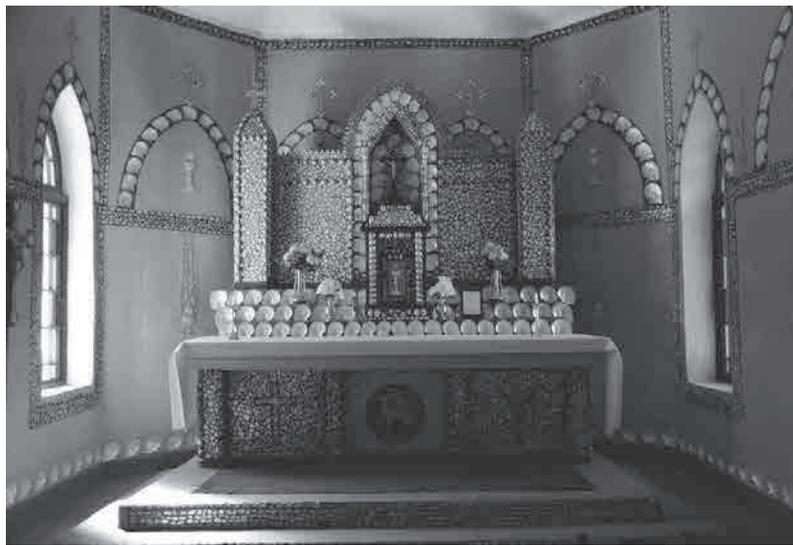


ビーグル・ベイの真珠の教会

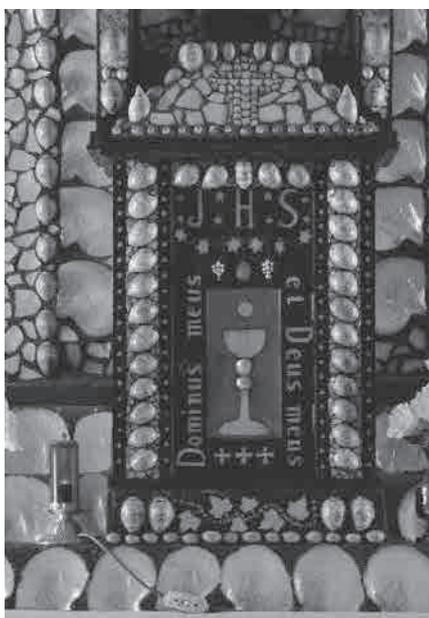
ブルームから少し離れたダンピヤー半島に、先住民のアボリジニのあるグループの故郷であるビーグル・ベイという地域があり、そこには Sacred Heart Church という真っ白な教会が静かにたたずんでいます。内装は祭壇を含め、ほぼすべて真珠で装飾されていて、とても美しい教会です。



青い空との対比が美しい、白い外観。



壁や祭壇も、すべて真珠や真珠の貝殻で埋め尽くされています。



祭壇の中央部。ガラスの絵の持ち手には、大きな真珠が2つあります。

ビーグル・ベイという名前は J. C. ウィッカムという人が英国軍艦ビーグル号に乗って北西の海岸を調査していた 1838 年に名づけられました。アボリジニの人々はもともとこの場所を「春に囲まれた場所」と呼んだそうです。ダンカン・マクナブ神父がダンピヤー半島へ来た最初のカトリックの宣教師です。その後フランス人のトラピスト修道会の僧が、1890 年にビーグル・ベイにやってきました。

最初の教会は低木の木材やオーストラリアの自生木で建設されました。1900 年にフランス人僧がビーグル・ベイを去ると、パロツィ会のドイツ人宣教師が後を継ぎました。宣教師たちはその後 100 年のビーグル・ベイでの布教を、1907 年にアイルランドからやってきたセント・ジョン・オブ・ゴッド教会のシスターたちとともに行いました。

現在の教会はドイツ人神父や地元の先住民の人々によって、ドイツの村の教会の白黒写真をモデルに 1918 年に再建されたそうです。これは文化遺産として登録されており、キンバリー地区の布教において信念や志を共有してきた宣教師やアボリジニの人々の、何世代にもわたる惜しみない働きの証拠として存在しています。

We Love
Broome!
We Love
Taiji!

平成26年度盆供養花火大会収支決算書

平成26年度盆供養花火大会が、8月14日無事開催されました。町民各位のご高配とご支援により、無事挙行できましたことに謹んでお礼申し上げます。

遅くなりましたが、次のとおり収支決算をご報告いたしますので、ご一覽下さい。今後とも、よろしくご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

収入の部

1. 寄付金及び補助金	5,103,500円	特別協賛 3,195,000円 町内一般協賛 1,208,500円 町助成金 500,000円 追善供養 200,000円
2. 繰越金	837,156円	平成25年度繰越金
3. 利息	227円	預金利息
合計	5,940,883円	

支出の部

科目	金額	摘要
1. 事業費	5,020,000円	花火代金 紀州煙火 和田煙火店
2. 賃金	137,320円	海上警備・臨時マイクロバス・駐車場警備
3. 需用費	95,319円	消耗品費、食糧費、プログラム印刷費
4. 役務費	56,409円	口座振替手数料、郵便料・傷害保険、印紙
5. 委託費	35,640円	スピーカ設置
合計	5,344,688円	

収入支出差引金額 翌年度 繰越金 596,195円

太地町花火大会実行委員会
委員長 藤木 一史

お知らせ

太地いきいき
情報コーナー

行政なんでも相談所

●行政相談とは●

国・県・市町村の仕事について「どうなっているんだろう」「納得できない」といった皆さまからの意見・苦情をお聞きし、問題の解決に努める役割をしています。

相談は無料で、秘密は固く守られますので、お気軽にご相談ください。

日時：11月19日（水） 午前10時～11時30分

場所：太地町公民館2階 視聴覚室

相談委員：長尾 宝代 行政相談委員

お問い合わせ：太地町役場 総務課（0735-59-2335）

「税を考える週間」 11月11日から

平成26年度のテーマは、「税の役割と税務署の仕事」です。

国や地方公共団体は、国民の生活に欠かすことのできない公共サービスを提供するため、様々な行政活動を行っており、その活動のために必要な経費を賄う財源が「税金」です。

国税の多くは、納税者自らが、所得金額や税額などの計算を行い、それに基づいて税務署へ申告・納税する「申告納税制度」を採用しています。この申告納税制度が適正に機能するためには、第一に納税者が高い納税意識を持ち、憲法に定められた納税義務を自発的に履行することが必要です。

国税庁では、この納税義務の履行を適正かつ円滑に実現するため、様々な納税者サービスの充実を図っています。

詳しくは、国税庁ホームページ「www.nta.go.jp」をご覧ください。

太地町選挙管理委員会からの お知らせ

和歌山県知事選挙が下記日程のとおり執行されることとなりましたのでお知らせいたします。

記

告示日 平成26年11月13日（木）

投票日 平成26年11月30日（日）

期日前投票

平成26年11月14日（金）～

平成26年11月29日（土）

～11月25日から12月1日は犯罪被害者週間です～

警察の犯罪被害者支援施策

◆ 犯罪被害給付制度

殺人や傷害等の故意の犯罪行為により、死亡、重傷病、障害という被害を受けた被害者又はご遺族に、給付金を支給します。

◆ カウンセリング制度 専門家によるカウンセリングの費用を公費で負担します（上限6時間）。

◆ 性犯罪被害への医療費負担制度 性犯罪被害による性感染症等二次被害を防止するための医療費を公費で負担します。

◆ 一時避難場所等の確保に係る公費負担制度

犯罪被害者等の身体の安全を図り、二次被害を防止するため、一時的に使用する施設の利用料を公費で負担します。
※各制度には対象範囲や除外事由があります。

公益社団法人紀の国被害者支援センター

同センターは、法律に基づく早期援助団体です。犯罪等の被害を受けた方の相談等を無料で受け付けています。
問い合わせ先：新宮警察署 警務課 0735-21-0110（代）

自衛官等募集案内

受験種目	応募資格	受付期間	試験日	試験会場
高等工科学校生徒	推薦 男子で中卒（見込含） 17歳未満の、成績優秀かつ生徒会活動に顕著な実績を納め、学校長が推薦できる者	11月1日～12月5日	27年1月10～12日 ※いずれか1日を指定されます。	陸上自衛隊武山駐屯地（横須賀）
	一般 男子で中卒（見込含） 17歳未満の者	11月1日～27年1月9日	1次 27年1月24日 2次 2月5日～8日	田辺市民総合センター

住民福祉課便り

健康福祉講座「ひざや腰の痛みとの上手なつきあい方」

下記の日程で、健康福祉講座を開催します。講座では、理学療法士の徳山和宏先生より、「ひざや腰の痛みとの上手なつきあい方」をテーマにした、ひざ痛・腰痛予防についての講話や、ひざ痛・腰痛予防の体操を行う予定です。講座の参加をご希望の方は、11月10日までに太地町地域包括支援センターまでご連絡ください。(☎59-2335)

【日時】 平成26年11月12日(水) 13:30~15:30

【場所】 多目的センター2階 トレーニングルーム

【講師】 理学療法士 ^{とくやま かずひろ} 徳山 和宏 先生 (徳山オフィス)

【対象者】 ひざ痛・腰痛が気になる方、予防に興味のある方 (年齢制限はありません)

【参加費】 無料

【お問い合わせ】 太地町地域包括支援センター ☎59-2335

参加をご希望の方は11月10日までにご連絡ください。なお、送迎をご希望の方は参加申し込み時にお知らせください。



口腔機能向上教室の開催について

下記の日程で、口腔機能向上教室を開催します。講座では、歯科医師や歯科衛生士の先生をお招きし、口の健康に関する講演や、歯磨きや入れ歯のお手入れなどの正しい方法の解説、お口の働きをよくする体操などについて学びます。年齢制限はありません。多くの方のご参加お待ちしております。

【日時】 平成26年11月28日(金) 13:30~15:00

【場所】 多目的センター2階 トレーニングルーム

【講師】 ◎紀南歯科医師会 ^{みやもと ひろゆき} 宮本 旬以 先生 (太地歯科医院)
◎和歌山県歯科衛生士会

【対象者】 高齢者向けの内容となる予定ですが、年齢制限はありません。

【持参していただくもの】 歯ブラシ・手鏡・タオル・洗濯ばさみ (あればメガネもご用意ください)

【参加費】 無料

【申し込み】 準備の都合上、参加をご希望の方は11月20日(木)までに、太地町地域包括支援センターまでご連絡ください。(☎59-2335)

●お申し込みをされていない場合でも、当日お越しいただければご参加いただけます。送迎を希望される方は申し込み時にお知らせください。



全国一斉「女性の人権ホットライン」強化週間を実施します!

【期間】 11月17日(月)から11月23日(日)までの7日間

【時間】 午前8時30分から午後7時まで(※ただし土・日曜日は午前10時から午後5時まで)

【電話番号】 0570-070-810 (全国共通ナビダイヤル)

【相談内容】 夫やパートナーからの暴力、ストーカー、職場における性的嫌がらせ等の女性に関する人権なんでも相談。相談は無料で、秘密は厳守されます。法務局職員または人権擁護委員が相談に応じますので、日頃の悩みをお気軽にご相談ください。

ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください

(和歌山地方法務局人権擁護課内) 和歌山県人権擁護委員連合会 (☎073-422-5131)

(いい) (みらい)

11月30日は「年金の日」です!

年金記録や将来の年金受給見込み額を確認し、未来の生活設計について考えてみませんか。

「ねんきんネット」をご利用いただくと、いつでもご自身の年金記録を確認できるほか、将来の年金受給見込額について、ご自身の年金記録を基に様々なパターンの試算をすることもできます。「ねんきんネット」については、日本年金機構のホームページでご確認いただくか、田辺年金事務所(0739-24-0323)にお問い合わせください。

健診はお済みですか？

今年度の各種健診について、皆さんすでにお済みでしょうか？ 今年度の健診予定日は下記のとおりです。

日程	場所	内容
11月 9日 (日)	多目的センター	特定健診・健康増進健診（前立腺がん検診）・肝炎ウイルス検診 胃がん検診・大腸がん検診 ※午前のみ実施
		乳がん検診・子宮がん検診・肺がん検診 ※午前・午後両方とも実施
11月 20日 (木)	多目的センター	特定健診・健康増進健診（前立腺がん検診）・肝炎ウイルス検診 胃がん検診・大腸がん検診・肺がん検診 ※午前のみ実施

※日程は変更する場合がありますので、ご了承ください。

★「肺がん検診」の事前申し込みは必要ありません。受診を希望される方は上記の検診実施日にお越しください。

※肺がん検診の受診料は無料ですが、喀痰検査を受けられる場合は受診料 500 円が必要です。

● 健康づくり推進員

★「前立腺がん検診」は、原則、健康増進健診と同時実施しますので、受診を希望される方は、健康増進健診をお申し込み下さい。（40 歳以上の男性）

★ピロリ菌検査は、40 歳～50 歳（S39.4.2 生～S50.4.1 生）の方が対象で、従来の胃 X 線検査とあわせて実施となります。

★受診料・対象者などその他詳細につきましては、検診申し込み表とともに配布されている「各種健診のご案内」をご覧ください。



背古 典子	平 見
山下 尚子	
磯崎 多津子	大 東
庄司 和子	小東・寄子路
奥村 洋子	新屋敷
小畑 真里	水の浦
太田 卓子	暖 海
上中 佳苗	森 浦

◆ お問い合わせ ◆

太地町役場住民福祉課 ☎59-2335

子宮頸がん予防ワクチン接種について

平成 25 年 4 月 1 日から、子宮頸がん予防ワクチン（ヒトパピローマウイルス感染症ワクチン）が定期の予防接種の対象となりましたが、平成 25 年度第 2 回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会（6 月 1 4 日開催）において、ワクチンとの因果関係を否定できない持続的な疼痛が本ワクチンの接種後に特異的に見られたことから、同副反応の発生頻度がより明らかになり、国民に適切な情報提供ができるまでの間、定期接種を積極的に勧奨すべきではない、とされました。

太地町ではこの勧告をうけて、子宮頸がん予防ワクチンの積極的な勧奨を控えています。接種を希望される方は、有効性とリスクを理解した上で受けてください。接種を希望する方は役場住民福祉課までお申し込み下さい。

◆ 意義

子宮頸がんの主な原因ウイルスの感染を防ぎます

◎子宮頸がんの原因は、性交渉によって感染するヒトパピローマウイルス（HPV）です。そのため、ワクチンを接種してウイルスの感染を防ぐことで、子宮頸がんも予防できると考えられています。

◎現在使用されている子宮頸がん予防ワクチンは、子宮頸がんの原因の 50～70%を占める2つのタイプ（HPV16 型と 18 型）に感染するのを防ぎます。

◆ 起こる可能性のある副反応

◎子宮頸がん予防ワクチン接種後にみられる主な副反応には、接種部位の痛みやはれ、赤みがあります。

◎まれですが重い副反応も報告されています。

●アナフィラキシー ●ギラン・バレー症候群 ●急性散在性脳脊髄炎（ADEM）

◎ワクチンを接種した後に、広い範囲に広がる痛みや、手足の動かしにくさ、不随意運動（動かそうと思っていないのに体の一部が勝手に動いてしまうこと）などを中心とする多様な症状が起きたことが報告されています。これらの原因は、現在調べているところですが、その報告頻度は 5 万接種に 1 回であり、ワクチンを接種した後や、けがの後などに原因不明の痛みが続いたことがある方はこれらの症状が起きる可能性が高いと考えられているため、接種については医師とよく相談してください。

◆ ワクチンを受ける時期

◎標準的接種年齢は中学 1 年生です。

◆ お問い合わせ ◆

太地町役場住民福祉課 ☎59-2335



『クジラとアメリカ』

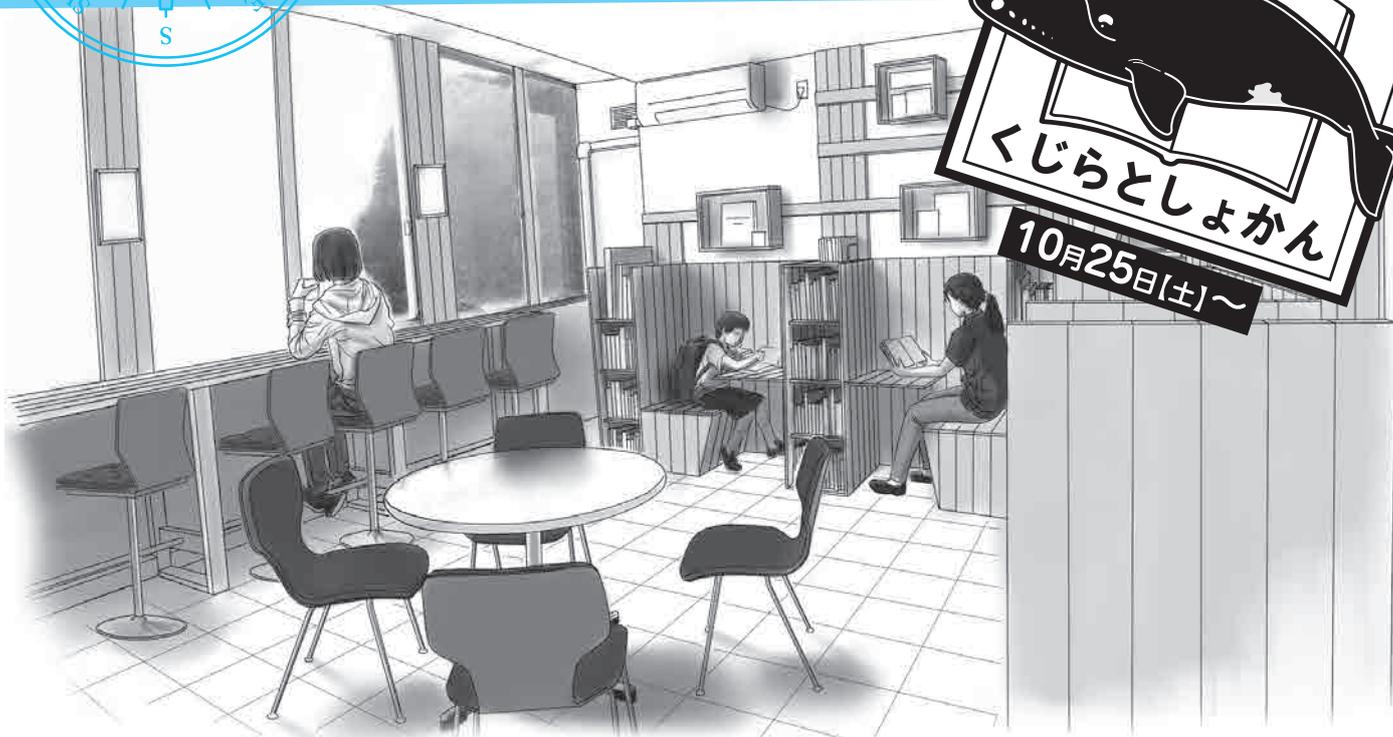
“Whales and America”

アメリカの捕鯨産業が最盛期を迎えた19世紀半ば、世界中の海でおよそ900隻の捕鯨船がクジラを追っていたといわれています。そのうち700隻を超える船がアメリカから、特にマサチューセッツ州ニューベッドフォードからの船がおよそ300隻で群を抜いていました。ペリー提督率いるアメリカ海軍東インド艦隊が浦賀へやって来た1853年、アメリカの捕鯨船は世界中の海で8,000頭以上のクジラを捕獲し、36万バレルを上回る鯨油と5,700万ポンドの鯨ひげ製品を生産して、1,100万ドルもの売上を記録しました。綿糸産業などと並んでアメリカで最も重要な産業のひとつであった捕鯨は、莫大な富をアメリカにもたらしていたのです。

1820年までにはハワイへ到達していたアメリカの捕鯨船はやがて日本近海に進出し、たびたび日本人と接触するようになりました。ジョン万次郎こと土佐の漁師万次郎がアメリカの捕鯨船に助けられ、そのままアメリカに渡ったことはよく知られています。あるいはニューヨーク州サグハーバーの捕鯨船マンハッタン号は、1845年4月、鳥島とその近くの洋上で救出した合計22名の日本人漂流者を浦賀で引き渡し、江戸幕府と成功裏に接触しました。ペリー提督は、日本遠征に先立って、日本人と接触した複数の捕鯨船長から話を聞いていました。捕鯨産業は、閉ざされた日本に関する貴重な情報源のひとつだったのです。

1860年代半ばになると、汽船と捕鯨砲を組み合わせた画期的な近代捕鯨技術、いわゆるノルウェー式捕鯨法が開発され、それまでとは比べものにならない数のクジラが捕獲される時代がやってきました。アメリカの捕鯨技術は時代遅れとなり、日本に定着することはありませんでしたが、アメリカ捕鯨産業は日米交流の歴史に深く関わっています。

写真：原書房から9月末に出版された『クジラとアメリカ：アメリカ捕鯨全史』は、2007年にアメリカで出版され、高い評価を得ている“Leviathan: the History of Whaling in America”の日本語訳です。筆者も共訳者のひとりとして参加する機会に恵まれました。



「Book*Cafe くじらとしゃかん」が OPENしました!

読書の秋です!皆さんは読書を楽しんでいますでしょうか。くじらの博物館では2014年10月25日(土)から、博物館2階(旧休憩室)に「Book*Cafe くじらとしゃかん」を開館しています。

「くじらとしゃかん」は、クジラや捕鯨、海や水族に関する書籍を収蔵する小さな図書館です。300冊に及ぶ収蔵図書はすべて来館者の皆さんから御寄贈頂いた書籍で、2012年6月より少しずつ集めてきました。皆さんの思い出の詰まった大切な本の数々を多くの方に読んで頂ければと、この度小さな図書館がオープンしたわけです。

これまでのくじらの博物館には、来館者の皆さんが施設内で抱かれた疑問を解決したり、興味をさらに深めたりできるスペースがありませんでした。私は、「くじらとしゃかん」をそのような場として活用して頂けることを期待しています。そのために皆さんに「行ってみたい!」と思って頂ける空間づくりを工夫しました。

まず、大きな窓からクジラショープールを臨めるカウンターテーブルを作りました。晴れているときはもちろん、雨の時も濡れることなくショーを楽しむことができます。次に図書を配架する本棚もすべて木材を使って手作りしました。本棚の間には机とテーブルが埋め込まれるようにして備え付けられています。皆さんも子供のころせまい段ボールの箱の中や部屋の隅っこで落ち着いた気持ちになった経験をお持ちではないですか?この机やイスもそういった経験から発想を得て、木のぬくもりに包まれながら安心感を持って過ごして頂けるよう設計しています。お茶を飲みながらゆったりとした読書タイムを楽しんで頂けると思います。10月27日(月)~11月9日(日)までは、「読書週間実行委員」が制定する「読書週間」となっています。皆さんもこの機会にぜひ「くじらとしゃかん」でお気に入りの一冊をみつけてください。

今回の「くじらとしゃかん」設計・製作・開館準備には、串本町在住の前芝真人さんを中心に「Whale Art Museum(ホエールアートミュージアム)※」のメンバーの皆さんの多大なご尽力がありました。皆さんお忙しい中、お仕事の合間やお休みを削って博物館に通ってくださり、このように素敵な図書館を作ることができました。この場をお借りして皆さんに厚くお礼申し上げます。

※ Whale Art Museum(ホエールアートミュージアム)...

太地町近隣地域に在住の美術作家の方々によるグループで、作品の展示・販売を中心に活動されている。

《保健衛生関係 11 月行事予定》

子育て支援関係

月 日	事業名	時間	場 所
11月13日(木)	ちびっ子ひろば	10:00～11:00	ふれあいルーム
11月20日(木)			
11月27日(木)			

健康相談

月 日	事業名	時間	場 所
11月5日(水)	乳幼児健康相談	10:30～11:30	多目的センター
11月7日(金)	成人健康相談(血圧測定)	10:30～11:30	公民館
		13:00～13:30	平見集会所
		13:45～14:15	老人憩の家
		14:30～15:00	寄水集会所
11月17日(月)	成人健康相談(血圧測定)	15:00～15:30	森浦集会所

※成人健康相談(血圧測定) 14:30～15:00の開催場所は奇数月は寄水集会所、偶数月は東新集会所で行っておりますのでご注意ください。

健診

月 日	事業名	時間	場 所
11月6日(木)	10か月児健診	13:00～13:10(受付)	那智勝浦町福祉健康センター
11月9日(日)	総合健診	8:30～11:00(受付)	多目的センター
	子宮・乳・胸部検診	13:00～14:00(受付)	
11月20日(木)	特定・健増・胃・大腸・胸部健診	8:30～9:30(受付)	多目的センター

健康教育

月 日	事業名	時間	場 所
11月10日(月)	なかよし体操	13:30～15:00	東新集会所
11月17日(月)			森浦集会所
11月12日(水)	健康福祉講座 「膝や腰の痛みとのお上手なつきあい方」	13:30～15:30	多目的センター
11月28日(金)	口腔機能向上教室	13:30～15:00	多目的センター

一白馬からお便りー【姉妹都市「白馬村」コーナー】



〓 八方尾根植生回復ボランティア〓
10月2日(木曜日)、雄大で美しい八方尾根を保全していくため、今年も八方尾根植生回復ボランティア作業が行われました。地元区民を始め、ボランティア約50人が参加。八方尾根自然研究路・第2ケルンの登山道周辺で踏み荒らしや土砂表流などにより裸地化している箇所植生を保護するマットを敷設し、在来種の種をまきました。

初雪が降る時期がまもなく訪れます。春雪が解けて植生が芽を出すころ、少しでも植生が回復してくれることを期待したいですね。

住民基本台帳
(平成26年9月末日現在)
総人口 3,341人
男 1,517人
女 1,824人
世帯数 1,648世帯
(前月比: 総人口 7人減
世帯数 1世帯増)

～防災ラジオの申請はお済みですか～

- ◇対象 太地町全世帯
 - ◇無償貸し出し・随時受付・その場で受取可能
- お申込みは役場総務課(59-2335)まで
申込書は役場にございますので印鑑ご持参のうえ、お越しください。なお、お申込みや受取りが困難な方は、お気軽に役場総務課までご連絡ください。



防災ラジオ